

# 健康社会学研究会

## ニューズレター No.24

### 目 次

1. 総会報告
2. 新役員紹介
3. 第29回セミナー要旨報告
4. 日本公衆衛生学会自由集会(予告)
5. 研究誌編集委員会から
6. 事務局より(会員名簿作成について)
7. 郵便振込み口座開設のお知らせ

- 別紙 1 健康社会学研究会 会則  
2 第60回日本公衆衛生学会 自由集会開催のお知らせ

編集・発行:健康社会学研究会

〒106-8580 港区南麻布 5-6-8

母子愛育会・日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部内(斉藤)

電話:03-3473-8332(直通)FAX:03-3473-8408

E-mail:[healpro@aiku.or.jp](mailto:healpro@aiku.or.jp)

## <総会報告>

---

2001年6月23日(土) 於 母子愛育会・日本子ども家庭総合研究所3階第一会議室  
第29回セミナー開催同日

議長 森山良典氏

- 1.平成12年度決算報告
- 2.平成13年度事業計画報告
- 3.平成13年度予算案(承認)
- 4.規約改正について(承認) 改正後新会則については別紙参照
- 5.運営委員交替および新運営委員紹介 記下参照

## <新役員紹介>

---

代表 小山 修(日本子ども家庭総合研究所)  
副代表 齊藤 進(日本子ども家庭総合研究所)  
運営委員 成木 弘子(日本赤十字看護大学)  
村井 良子(有限会社プランニング・ラボ 法政大学)  
杉田 秀二郎(東京都老人総合研究所)  
松岡 正純(白井市役所)  
森川 洋(東洋大学院)  
渋谷 美穂(志木市立志木第二小学校)  
金子 純子(東洋大学)

前号でお知らせしましたように、島内憲夫前代表は、代表を降りられ、  
かつ本研究会を退会されております。お問い合わせなどは新事務局までお願いします。

---

## <第29回健康社会学セミナー報告>

---

日時:平成13年6月23日(土)14時から16時30分  
会場:母子愛育会・日本子ども家庭総合研究所3階第一会議室  
テーマ:『健康社会学の世界-私が考える健康社会学-』

3人の報告者から、まず次のような講演があった(講演順)。

吉田由美氏(元東邦大学医療短期大学)は、「健康社会学・ヘルスプロモーションの視点と魅力」と題し、個人の「認識」についての研究的関心、さらに看護分野への関心を通してヘルスプロモーションに出会っていったプロセスを述べた。さらに学習の視点からいかに個人(子ども)を支援するかという健康学習課題について解説した。次に金子純子氏(日本大学医学部附属板橋病院)は、大学病院での勤務の経験から、看護職にとっておそらく普遍的な悩みを率直に語り、病院は健康や病気を意識する場であり、健康(や病気)の教育・学習の機会であるのに、そうっていない現状を述べた。また後半ではスターバックスコーヒーを例に挙げ、人と人をつなぐコミュニティの役割を担っているところにも人気の秘密があるということと、それと重ね合わせて人と人をつなぎ心地よさを作ることが医療の中での健康ではないかという提言をした。最後に斉藤進氏(日本子ども家庭総合研究所)は、少年期(小学生)の健康学習のテーマは「遊び」であるとして、遊びが変化してきたこと(自然の中での遊びが少なくなったこと、室内での遊びが増えたこと、時間が短くなったこと)を統計資料を示しながら解説した。そのような状況で保健的社会化を進めるには、生活力とコミュニケーションスキルを中心とした個人技術の獲得と、コミュニティの活性化、およびその環境づくりが重要であるとの提言をした。

指定発言者の小山修氏(日本子ども家庭総合研究所)からは、病院や遊びに関して具体的にどうすればいいのかという問題提起がなされた。討論では、学校が競争の場になっているのではないかという指摘から、競争の中にある病理性と健康性に気づき、それをいかにコントロールしていくかということこそが重要であろうということが示唆された。

今後、このようなセミナーが他の研究者によって唱えられている健康社会学との共通点・相違点を探るきっかけにつながることを期待したい。  
(杉田秀二郎)

## <第60回日本公衆衛生学会 自由集会開催予告>

---

第60回日本公衆衛生学会(高松)(詳細 別紙参照)

集会名「職域・分野を超えたヘルスプロモーションの展開は可能か？」

日時10月31日(水)18時から20時 場所 ホテルニューフロンティアシンフォニー

## <健康社会学研究誌編集委員より>

---

原稿大募集!

前号のニューズレターでもお伝えしましたが、原稿を大募集しています。論文については教育的査読を行いますので、まずは投稿してみたいかがでしょうか。貴重なデータ・お考えを是非発表してみてください。また、研究誌第1号に掲載された内容についての感想でもけっこうです。

---

---

## <事務局からのお願い>

---

### 1. 会員名簿作成について

今年度中に名簿を作成します。

住所変更、所属が変わっている方は必ず、FAX、はがき、E-mail でお知らせください。

### 2. 会費納入のお願い

13 年度分の会費納入をお願いします。

### 3. 退会処理について

(1)退会希望の方は、退会届をはがきまたは FAX 等の文書でご連絡ください。

(2)年度途中での退会の場合、その年度の会費は納入してください。

(3)平成 11 年度、12 年度、13 年度会費未納者は退会になります。

この場合、会費は 3 年度分納入をお願いします。

### 4. 事務局移転にともない、事務処理の不都合が発生している可能性があります。

不明な点は、早急に文書等でご連絡ください。

---

## <郵便振込み口座開設のお知らせ>

---

第一勧業銀行(広尾支店(普通)1842122)に加え以下の口座を開設いたしました。

郵便振替 00100-8-41025 健康社会学研究会